

2 事前調査の方法

2-3 既存外壁適性診断

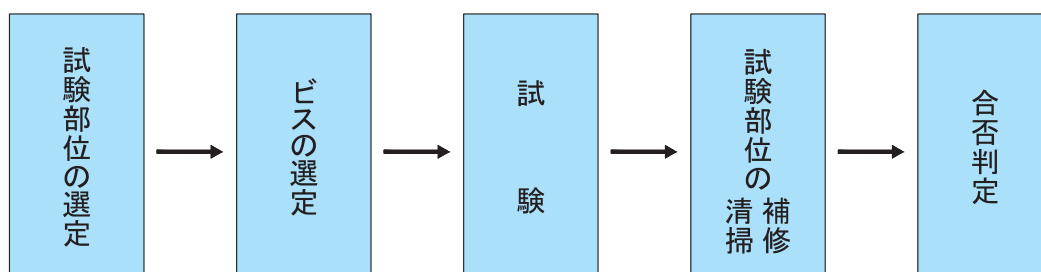
2) 老朽度調査の方法

- 調査方法は目視で行いますが、必要に応じて仕上げ材を剥がし、内部を確認してください。
- 調査結果でアンカーやビスの保持力に影響があると思われる場合は、引張荷重確認試験で安全性を確認してください。
- 調査結果で雨水の浸入に関する問題点がある場合は、施工前に必ず止水処理を行ってください。

3) 引張荷重確認試験の方法

RC造やS造(ALC厚100mm)では、胴縁下地としての適正を確認するために引張荷重確認試験を必ず実施してください。S造(ALC厚50mm)の場合は構造躯体に胴縁固定用ビスを留め付けるため、引張荷重確認試験の必要はありません。

①試験の流れ



②試験部位の選定

■試験面(方位)

一般的に躯体の劣化が進みやすい北面を優先します。ただし密集市街地のように隣地境界までが近く風通しが良くない面や、植栽が多く常に湿気が多い面など現場状況は様々ですので、老朽度調査の結果を考慮しながら試験面を1面以上選定してください。

■試験高さ

地盤面より1mまでの範囲で調査してください。老朽度調査の結果によっては、1m以上の箇所を選定してください。

■試験箇所数

1建物につき3ヶ所以上実施してください。大規模建築物の場合、目安として壁面長さ20mごとに2ヶ所程度は必要と思われます。老朽度調査の結果を考慮しながら選定してください。

③試験に必要な部材

■試験器具

サンコーテクノ社製・テクノテスターRT-2000LD(Ⅱ)、または同等の性能を有する器具。

■試験用ビス

現場で使用する指定アンカー(サンコーテクノ社製)。

施工方法	試験用アンカー・ビス	長さ	メーカー
RC造	プレスアンカー	下記※1	サンコーテクノ(株)
S造(ALC厚100mm)	金属胴縁:ALCドライブ	75mm	
	木胴縁:リフォームスクリュー	90mm	
RC造外断熱	CTアンカーまたはグリップアンカー	下記※1	
RC造ブラケット	オールアンカー※2	下記※1	

※1 RC造のビス長さは、必要埋込み深さ(カタログ値)+モルタル厚さ+約5mm(試験治具厚)です。モルタル厚さが分からない場合は、設計者・施工者と協議の上モルタル厚さを仮定してください。

※2 オールアンカーは試験後も躯体にアンカーが残ります。アンカーの頭部を埋める場合は、あらかじめ先孔を深く掘り、躯体に埋め込んでください。